２０２４年度

第２学年　英語科年間シラバス

多摩永山中学校

【英語科の目標】

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学習内容（予定時間数）※授業の進行状況や習熟の状況によって評価材料に変更が生ずることがある。

一学期（52）	二学期（64）	三学期（40）
【４月～５月】 Unit 1: Hajin's Diary Unit 2: Basketball Tournament ※スペリングコンテスト スピーキングテスト、リスニング小テスト	【９月～１０月】 Unit 4: Tour in New York City Daily Life 4: 道案内 Unit 5: Earthquake Drill ※スペリングコンテスト 第２回定期テスト	【１月】 Unit 7: Amazing Australia Daily Life 7: 観光案内 ※スペコン、音読テスト
【５月～６月】 Daily Life 1:電話 Unit 3: Plans for the Summer Daily Life 2:アナウンス ※音読、リスニング小テスト 単元テスト	【１０月～１１月】 Daily Life 5:イベントのお知らせ Daily Life 6:体調不良 Unit 6: Work Experience ※音読、リスニング・単元小テスト 第３回定期テスト	【２月】 Unit 8: Staging a Musical Daily Life 8: 音声ガイド Let's Read 3: Emojis --- From Japan to the World ※ワークブック（文法副教材）提出 第４回定期テスト
【６月～７月】 Let's Read 1: Sukh's White Horse You Can Do It 1:わが町観光プラン Daily Life 3:レストラン ※ワークブック（文法副教材）提出 音読、スピーキングテスト リスニング小テスト、第１回定期テスト	【１２月】 Let's Read 2: Meet Hanyu Yuzuru World Tour 2: 世界を舞台に働く人 You Can DO It 2: 職業診断チャート ※ワークブック（文法副教材）提出 スピーキングテスト	【３月】 World Tour 3: 世界遺産めぐり You Can Do IT 3: 日本のおもしろいもの紹介 Let's Read More 1: The Statue of Liberty Let's Read More 2: Aboriginal Art

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率１００％で統一する）

	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねＢ」「満点」などの設定
Ⅰ	＜知識及び技能＞ 各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	定期テスト リスニングテスト スペリングコンテスト パフォーマンステスト （会話テスト）	・スペリングコンテストは得点を10段階で換算する。 長期休業明けに５０問のテストを行う。 ・文法テストや単元確認テスト、リスニングテストは状況に応じて配点し行う。 ・音読、スピーチはＳ、Ａ、Ｂ、Ｃで評価する。 きわめて英語らしいリズム、発音、強弱、区切りである＝Ｓ、英語らしさを意識して滑らかである＝Ａ、数か所の読み間違い、ゆっくり最後まで読んだ＝Ｂ、英語らしさにかける＝Ｃ。 ※ワークシートやパフォーマンステストはその都度、評価表があり、詳しい基準が示されている。評価は点数の場合と、（Ｓ）ＡＢＣの評価がある。
Ⅱ	＜思考力・判断力・表現力等＞ 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	定期テスト ＳＳノート パフォーマンステスト	・文法テストや単元確認テスト、リスニングテストは状況に応じて配点し行う。 ・スピーチはＳ、Ａ、Ｂ、Ｃで評価する。聞き手を意識した発表として特に優れていること＝Ｓ、聞き手を意識した発表であること＝Ａ、聞き手を意識したスピーチとして工夫にかけること＝Ｂ、聞き手に対する一層の意識を要する＝Ｃ。 ※ワークシートやパフォーマンステストはその都度、評価表があり、詳しい基準が示されている。評価は点数の場合と、（Ｓ）ＡＢＣの評価がある。
Ⅲ	＜主体的に学習に取り組む態度＞ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 ・授業態度、提出物の状況などの平常点 など	〔全教科共通〕 ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 〔平常点〕 ・SSノートは毎日２ページ以上を課題とし、チェックを受ける。 チェックの数が９割以上＝Ａ、５割以上＝Ｂ、それ以下＝Ｃとする。ページ数の多さ、内容に関しては加点の材料とする。 ・長期休業中の課題については、指示通りに取り組むと満点。 取り組み内容に応じて評価をする。